

ご参考資料 下肢静脈瘤と北青山 D クリニックレーザー血管内治療について

1 下肢静脈瘤とは



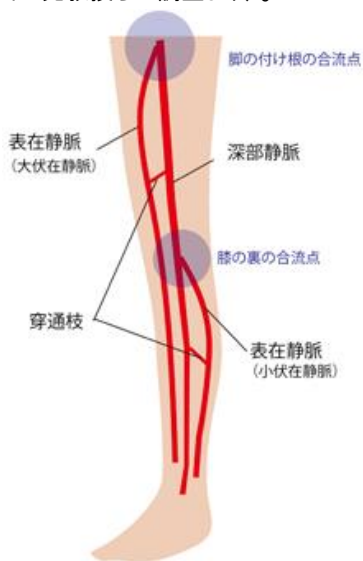
下肢静脈瘤とは、下肢(かし)すなわち脚や足の表面を走行する静脈が、ぼこぼこ瘤(りゅう、こぶ)のように盛り上がったり、クモの巣や網目状に青や赤の血管が浮き上がったりする疾患です。

男性よりも女性に多いのも特徴で、年齢を重ねるほど発症しやすく、40才以上を対象にした調査では、全体の8.6%(男性3.8%、女性11.3%)に静脈瘤が認められ、患者数は約1,000万人以上と推定されています(※2005年西予地区コホート研究:愛媛県西部の1市5町の40才以上の住民を対象に愛媛大学公衆衛生学教室:小西正光教授らが調査より)。

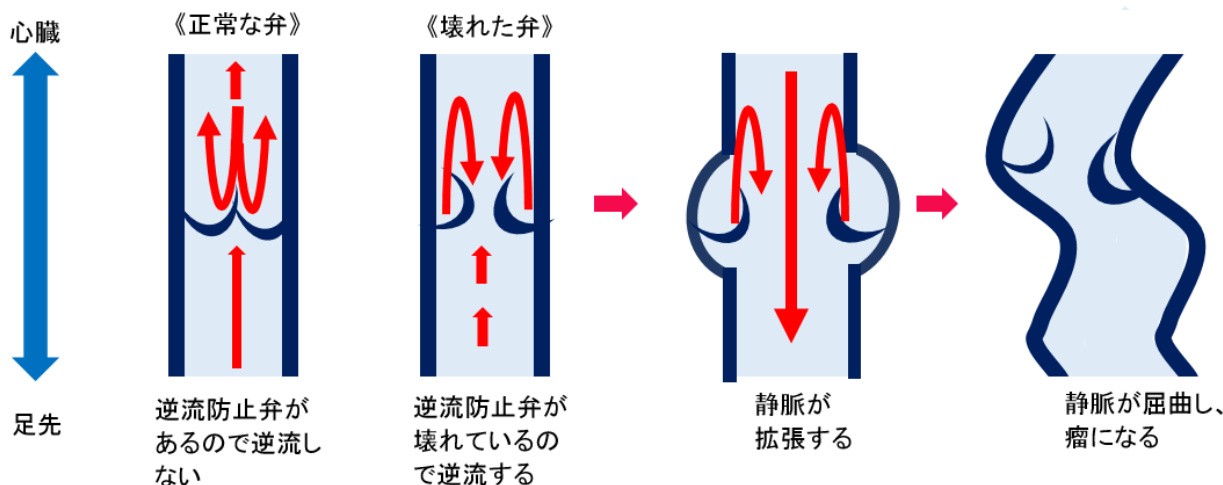
(1) 発生メカニズム

下肢の静脈は、筋肉の中にある深部静脈と表在静脈に分けられます。表在静脈は脚の付け根と膝の裏で深部静脈に合流し、他に穿通枝と呼ばれる短い血管によってもつながっています。

静脈を流れる血液が下肢から心臓に戻るとき、重力によって血液が下に引っ張られるため、逆流を食い止める逆流防止弁が重要な役割を果たしています。この逆流防止弁は、高い逆流圧のかかる脚の付け根や膝の裏などで壊れやすく、弁が壊れて正常に働かないと、血液は逆流して、脚の下のほうに血液が溜まります。その結果、静脈が拡張し瘤が作られるのです。



下肢静脈瘤のメカニズム



(2) 主な症状

- ・血管が足の表面に太く浮き出るため、女性はスカートを着用しづらくなる
- ・足のうっ血による、だるさ、重さ、疲れ、火照り、痛みなど
- ・血液循環が悪いため、足がつる
- ・皮膚炎や湿疹
- ・皮膚が破れて出血、潰瘍になる※2
- ・血栓性血管炎(熱をもち赤く腫れ、痛みを伴う)



(3) できやすい人

- ・女性・特に出産経験者
妊娠時に分泌される黄体ホルモンが血管を柔らかくするため静脈瘤が発生しやすくなる
- ・高齢者
年をとって血管が弱くなると逆流防止弁が壊れやすくなる
- ・遺伝
親族に疾病経験者がいると発生する頻度が高くなる
- ・立ち仕事
教師・美容師・調理師・看護師・客室乗務員など立ちっぱなしが多いと発生頻度が高くなる
- ・高身長
身長が高く足が長い方は血管が長い分、発症頻度が高くなる
- ・肥満
肥満の方は深部静脈の圧が高くなるため、逆流防止弁への負担が大きくなり壊れやすくなる
- ・スポーツ選手
足をよく使うサッカー選手やマラソン選手など

見た目を気にする人もいますが、直接命に関わる病気ではないため、積極的に治療をしない人も少なくありません。しかし、時間が経過しても症状は改善することはなく、放置すると重症化して治療が困難になることがあります。

2 北青山Dクリニックの血管内レーザー治療

(1) 下肢静脈瘤の血管内レーザー治療とは

下肢静脈瘤の治療は脚の付け根などから傷んだ静脈に特殊なワイヤー(ストリッパー)を通して、血管の一部を取り除くストリッピング手術が一般的でした。

その後、血管を切らずに、静脈にレーザーファイバーを挿入して、先端から出るレーザー光で静脈内部を焼いて塞ぐ治療法(=血管内レーザー治療)の効果が認められ、北青山Dクリニックが東京都で初めて同レーザーを用いて血管内レーザー治療を本格的に開始しました。

【血管内レーザー治療の流れ】

- ① 静脈瘤となってしまった血管に極細のレーザーファイバーを挿入
- ② 挿入したレーザーで静脈の内側を熱で焼き、患部の血管を閉鎖させる
- ③ 塞がれた静脈部分には血液が流れなくなり、そのあと数ヶ月かけて線維化していく
- ④ 体組織に吸収されて消えていく



(2)国内でも希少な「2000nm レーザー」の特徴

レーザー治療機器の波長は 810nm、980nm、1320nm、1470nm、2000nm と発展を続けています。2011 年に「980nm レーザー」、2014 年に「1470nm レーザー」が保険適用になっています。

最も効果的と言われている「**2000nm レーザー**」は国内でも希少で、北青山Dクリニックで受けることが可能です(国内に普及されている3台のうち、北青山Dクリニックが2台を所有しています)。

【2000nmレーザー治療の特徴】

メリット

- ・現存のレーザーで最高の水吸収率を有する＝組織との反応が最も優れていると言える
- ・施術時間が短く、通院回数がより少ない
- ・レーザーを刺入するための針穴が小さく、傷口が目立たない
- ・硬化療法※3が必要な場合はレーザー治療同日に実施できる
- ・初診当日に手術ができる
- ・術後の痛みが少なく回復が早い
- ・弾性ストッキング着用期間が短くすむ
- ・複数の静脈瘤があっても1日で全部治療できる

※3 静脈に硬化剤を注入し、静脈瘤をつぶしてしまう治療法

デメリット

- ・自費診療になる

「できるだけ早い回復を希望したい」「通院回数を最小限にしたい(できれば一度の治療で治したい)」と要望にお答えできるのが2000nmレーザーです。遠隔地(国内外)からも多くの患者様がこの2000nmレーザーを用いた日帰り手術を受けに来院されます。



←血管内レーザー手術中の阿保院長

下肢静脈瘤日帰り根治治療は
当院から始まりました。

保険適用有
3万超の治療実績と高い治療満足度

日帰り手術実施期間 **16年3ヶ月**

日帰り治療総数
2016年11月末現在
32,404
※ 前月実績275件

患者様満足度
アンケート調査結果
95.1%

■ □ お問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください □ ■

北青山Dクリニック/Dクリニックフォーラム 広報担当 坂部真利子

<info@arkwise.co.jp>

TEL:03-5411-8225/FAX:03-5411-8226